

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年2月22日

事業所名 放課後等デイサービスあおい

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		
	2	職員の配置数は適切である	5		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	キッチンとの間に段差がある。 二階への階段に手すりを付けられるよう検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	参加できない職員には業務日誌を確認するよう周知徹底する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	依頼先を見つけていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		どちらともいえない。1名 社内研修を行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	田中ビネーを活用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		どちらともいえない。1名 固定化しないよう工夫をしていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		どちらともいえない。1名月に一度、児童についての話し合いをしていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1	全職員で確認していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	全児童の保護者へ医療的ケアが必要な場合の時のために関係機関の連絡先の聞き取りを行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	就学前の児童の関係先に聞き取りを行い、全職員へ周知する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	必要な場合の時のため提供する体制を整えておく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		5	研修を受けられるようにしていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	コロナウィルスのため行けていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3	コロナウィルスのため行けていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		
保護者	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	どの職員でも保護者へ説明できるようにしていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	変更があった場合説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	年に2回行えるよう整備していく。

への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		
	35	個人情報に十分注意している	5		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	どちらともいえない。1名 見学の期間を設け一般の方を開放出来るようにする。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		どちらともいえない。1名 HPで掲載できるようにしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に	5		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	現在利用児がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	どちらともいえない。1名 半年に一度話し合いを行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。